令和７年度　保健医療学研究科　博士課程前期・後期　授業評価結果

◆授業評価実施期間
前期：令和 7 年 9 月 11 日～令和 7 年 9 月 26 日　　後期：令和 8 年 2 月 26 日～令和 8 年 3 月 10 日

◆令和７年度　博士課程前期
１．授業評価集計結果のまとめ（前期授業評価と後期授業評価をまとめて集計）

	実施科目数	１科目あたり履修者数	回答があった科目数	平均回収率
看護学専攻	18	1－10 人	15	78.7%
理学療法学・作業療法学専攻	25	1－11 人	17	55.2%
共通科目	12	1－17 人	11	61.6%

	自己評価　平均点（範囲）＜満点 20点＞	授業・実地評価　平均点（範囲）＜満点 16 点＞
看護学専攻	18.1（14.0～20.0）	14.6（12.0～16.0）
理学療法学・作業療法学専攻	19.1（16.0～20.0）	15.1（13.4～16.0）
共通科目	17.8（15.4～20.0）	14.3（12.8～16.0）

＊自己評価、授業・実地評価とも回答があった科目のみで平均点を算出

２．授業評価票コメントのまとめ
①看護学専攻　（コメント数 5）
・　今後の研究，実践に役立つ重要な科目，講師の助言で理解が進んだ，学生のペースに合わせた指導を受けることができたなど肯定的意見が述べられていた.
②理学療法学・作業療法学専攻　（コメント数 3）
・　知識を深めることが出来た，充実したディスカッションの機会があったなど，肯定的意見が述べられていた.
③共通科目　（コメント数 10）
・　知識の幅を広げることが出来た、自身のペースに合わせた助言や励ましがあった，内容や資料がわかりやすかった，オンデマンド授業で再確認ができてよかった，といった肯定的な意見が多く述べられていた．また，後期の関連授業への期待が述べられていた.
・　不快と感じる教員の発言があった，今のご時世では合わないスタイルで改善を希望する，といった否定的意見が少数であるが述べられていた.
・　科目によっては e-learning での受講の対応を検討いただきたい，といった要望が述べられていた.

◆令和７年度　博士課程後期
１．授業評価集計結果のまとめ（前期授業評価と後期授業評価をまとめて集計）

	実施科目数	１科目あたり履修者数	回答があった科目数	平均回収率
看護学専攻	3	1－2 人	1	16.7%
理学療法学・作業療法学専攻	13	1－4 人	11	69.2%
共通科目	1	5 人	0	0%

	自己評価　平均点（範囲）＜満点 20 点＞	授業・実地評価　平均点（範囲）＜満点 16 点＞
看護学専攻	20.0	16.0
理学療法学・作業療法学専攻	19.1（15.0～20.0）	15.4（12.0～16.0）
共通科目	－	－

＊自己評価、授業・実地評価とも回答があった評価のみで平均点を算出

２．授業評価票コメント
①理学療法学・作業療法学専攻　（コメント数 1）
・　毎回、勉強になることが多く，充実した講義であった，と述べられていた.